

《躍進するアセアン諸国とそこに向き合う日本企業の戦略に迫る！》

今 アジアが熱い！

アセアン諸国はとても大事な友人である

アセアン諸国は今 無限大の可能性を秘めており、GDPは5%台で上昇継続中

アセアン構成国（インドネシア・タイ・マレーシア・シンガポール・ミャンマー）

外資系企業を入れ製造業を中心として雇用を高めている（貧困層の減少）

アセアン諸国に進出する日本企業が右肩上がりに増えている（保険、飲食、製造他）

《アセアン諸国の紹介：マレーシアについて》

マレーシア＝熱帯の多民族国家

ルックイースト（日本や韓国に学ぶ）の政策により日本への関心が高く繋がりが強い

GDPも5%台の成長が続いている

企業だけではなく個人の関心の高まりをうけている

地元の人ではなく日本人をターゲットとしたビジネスが展開されている

理由①2006年来8年連続、世界で住みたい国ナンバーワン（ロングステイ財団調べ）

理由②日本人移住者も急激に増えている（除くビジネス）

《トロピカル リゾート ライフスタイル社/コスモス・プラン社の紹介》

<http://www.tpcl.jp/index.html> <http://totalmalaysiafudosan.jp/>

マレーシアに進出して15年

日本人に向けた物件の紹介をしています

石原社長「日本人の不安要因である自然災害や原発施設が無いことと、長期滞在ビザの

取得が容易なことは日本人移住者が増えている一因である」

海外であえて日本人相手にビジネスを展開する石原氏によるマレーシアの魅力とは、

「日本の昭和50年代前半のような経済状況であり、様々なビジネスチャンスがある」

堂田氏（不動産担当）による9セプテ建設現場の案内

<http://totalmalaysiafudosan.jp/property/?t=1&city=kl>

「9セプテは商業施設・SOHOと居住施設を建築中」

日本人向けに販売されているB棟のモデルルームの案内

価格：3300万円台

間取：リビング・ダイニング・ベッドルーム115平米、天井高3メートル

マレーシアでは115平米は狭い部類、現地の人は120～200平米ぐらいが一般的

外国人が物件の購入をする場合、物件価格に条件が有る

（クアラルンプールは100万リンギット以上＝3300万円～）

同程度を東京で購入すると一億円以上、その比較もマレーシアの物件の魅力といえる

《*MM2Hビザを取得しマレーシアへ移住して5年目の伊藤様のケースの紹介》

時期：ご主人の定年退職後、ご夫婦で移住

住居：ゆったりした3LDKの間取に居住

動機等：新しいことの発見を楽しみにマレーシア移住

日本との違いを日々楽しむことができている

*MM2H：マレーシアマイセカンドホームビザ

一定の条件をクリアすれば10年間滞在可能なビザを取得できる